

回覧

令和7年3月発行
NO.229

消防だより



編集：印西地区消防組合消防本部
総務課庶務係

〒270-1387
千葉県印西市牧の原二丁目3番地
TEL0476(46)4321(代表)
テレガイド 0476(45)5119

<http://fire-inzaichiku.eco.coccan.jp/>



主な内容

- ◆ 令和6年度警防活動技術訓練の実施について
- ◆ 令和6年度防火ポスターコンクール「最優秀作品」決定について
- ◆ 第49回消防救助技術千葉県大会入賞
- ◆ 令和6年度救助隊員選抜考査実施について
- ◆ 第52回消防救助技術関東地区指導会入賞
- ◆ 若手職員インタビュー(横山消防士・中村消防士)
- ◆ 第52回全国消防救助技術大会入賞
- ◆ 火災調査室からのお知らせ(ゲンさん)

令和6年度警防活動技術訓練の実施について

開催日時 令和6年11月1日(金)

開催場所 印旛消防署

開催規模 各消防署2隊 計12隊(1隊内訳:指揮者1名、隊員2名)
※印旛消防署を除く

1. 目的

本訓練は、日頃の警防技術訓練の成果を確認、評価検討することにより火災現場における更なる警防技術の向上を図ることを目的とします。

なお、最優秀賞受賞の本埜消防署、宮嶋隊は、令和6年12月20日に千葉県消防長会主催で千葉県消防学校にて行われた「令和6年度警防活動技術千葉県大会」に当組合の代表として出場しました。

2. 実施概要

次の基本的な警防技術訓練の所要時間、确实性を審査します。

- (1) 呼吸器着装
- (2) 放水活動
 - ① 資機材搬送
 - ② ホース延長
- (3) 高所進入活動
 - ① 三連はしご取扱い
 - ② ホースの引き揚げ
- (4) 破壊活動
 - ① エンジンカッター取扱い
- (5) 要救助者搬送
 - ① 面体着装
 - ② 前屈二人搬送



上段 本埜消防署鈴木署長
下段左から 村田士長 宮嶋司令補 土屋消防士



令和6年度警防活動技術千葉県大会

開催日時 令和6年12月20日(金)

開催場所 千葉県消防学校防災研修センター訓練場

各消防本部の厳しい選考会を勝ち抜いた選りすぐりの精鋭34隊、人数にして102名が頂点を取りに千葉県消防学校に集結しました。

1 目的

千葉県内の消防本部が安全を第一とした中で迅速・確実に災害対応を行うために、日頃、訓練練磨している基本的な警防技術を主眼とした交換会を実施し、警防活動に必要な技術の向上を図ることを目的とします。

2 訓練参加消防本部 千葉県内消防本部

印西地区消防組合からは選考会を勝ち抜いた本埜消防署(1部)宮嶋隊が出場し、見事3位入賞に輝きました。



第49回消防救助技術千葉県大会 入賞

5月23(木)千葉県消防学校で第49回消防救助技術千葉県大会が開催され、印西地区消防組合から、「はしご登はん」、「ロープ応用登はん」、「ほふく救出」、「ロープブリッジ救出」の4種目に22名の隊員が出場しました。

本大会は、千葉県内30消防本部(局)の救助隊員524名が一同に会し、各種災害から地域住民の安全を確保するため、消防救助活動に不可欠な強靱な体力、技術力、精神力を向上させることを目的に、7種目の訓練で救助技術を競い合う大会です。

「ロープ応用登はん」の部 第5位(白井消防署)

濱川士長/佐々木副士長



左が濱川士長 右が佐々木副士長

「ロープブリッジ救出」の部 第3位(白井消防署)

田村司令補/藤井士長
塚田士長/加藤副士長



左から藤井士長、塚田士長、加藤副士長、田村司令補

第52回消防救助技術関東地区指導会 第52回全国消防救助技術大会 入賞

7月18日(木)千葉県消防学校で第52回消防救助技術関東地区指導会が開催され、印西地区消防組合からは、千葉県大会にて優秀な成績を収めた「ロープブリッジ救出」4名の隊員が出動し、見事入賞しました。

そして、8月23日(金)場所は同じく千葉県消防学校で第52回全国消防救助技術大会が開催されました。前述の関東地区指導会にて入賞を収めた「ロープブリッジ救出」4名の隊員が出場し見事、全国大会でも入賞しました。



上段 左から田村司令補・加藤副士長・塚田士長・藤井士長
下段 左から郡司司令・半田司令



左から塚田士長・加藤副士長・田村司令補・藤井士長

ロープブリッジ救出とは? 対面する20m先の建物に要救助者発見! ～ロープを渡り迅速に救助せよ～

建物間20mに張られたロープを隊員2人が渡って要救助者をロープに付け、もう1人の隊員がそのロープを引いて救助します。

引くのは
任せる!

今助けるぞ!

要救助者





火災調査室からのお知らせ

ゲンさんのひと言

No.11

こんにちは、ゲンです。
今回のお話は、電気火災です。

私たちの暮らしに欠かせない電気も、使い方を間違えると火災につながってしまいます。

電気の使い方や電気火災の内容を理解して適切な取り扱いをお願いします。



【古い延長コードに注意】

初めに皆さんのご家庭でも幅広く使用されている延長コードについてです。延長コードに使用期限があるのはご存じでしょうか？

使用状況や使用環境によって異なりますが、一般的に5年が目安とされています。複数メーカーの推奨期限は3年から5年と記載がされています。

古くなった延長コードを使用していると、劣化により本来の性能が発揮できなくなったり、気が付かないうちにコードの中の配線が切れたりして、その部分が熱くなり火災になってしまうことがあります。

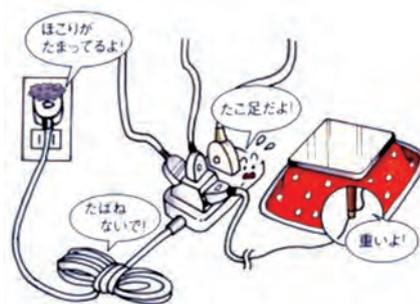
【延長コードは束ねて使わない】

延長コードを束ねたままや、じゅうたんなどの下に敷いた状態で使用するとコードの放熱が悪くなり、蓄熱してしまい出火する恐れがあります。巻き取り式延長コードについても束ねた状態と同様で、巻いた状態で使用すると熱を持ちやすいため、巻き取り式コードは伸ばした状態での使用をお願いします。

【たこ足配線に注意】

たこ足配線をすると、コードの許容ワット数を超過してしまうことがあり、それにコードが耐えられず、火災になってしまうことがあります。

一般的な延長コードは合計1500ワットまで使用できるものが多く、同時使用を避け延長コードに記載されている許容ワット数を超えない範囲で使用をお願いします。



★電気火災を防ぐ7つのポイント★

- (1) たこ足配線をしない（許容ワット数を超過して家電を使用しない）
- (2) コンセントにほこりをためない。水をかけない。
- (3) 電気プラグはしっかりと差し込む。コードを束ねて使用しない。
- (4) 傷んだ電気コードや古い電気コードは新しいものに交換する。
- (5) コンセントにゆるみやぐらつきを感じたら早めに修理する。
- (6) 電気機器の使用方法を理解し、間違った使い方をしない。
- (7) 安全基準に適合した電気機器、コードを使用する。



印西地区消防組合
ホームページ

若手職員インタビュー

横山兼心消防士

中村伊吹消防士



インタビュアー
総務課大田



救助試験を受ける横山消防士(写真左、結索作業中)

2年目 横山兼心消防士

大田: よろしくお願ひします。

横山: よろしくお願ひします。

大田: まず始めに、消防を志した理由を教えてください。

横山: 高校生の時に医療系の仕事をしてみたいと考えてました。色々調べていく中で救急救命士という資格に目がとまり、消防士という職業を考えるようになりました。大学では救命士の勉強を学びました。

大田: なるほど。そういえば横山消防士は今年の救助試験も受けられていましたよね。

横山: はい。救助隊も志しています。強靱な精神力や体力そして知識を増やすことで自分の引き出しを増やし、色々な視点からの考え方や想像力をより深めたいと思っています。

大田: 趣味や好きなことはありますか？

横山: ゴルフと山登りです。ゴルフは最近始めました。ほんと最近に署の先輩達とみんなで行きましたがとても楽しかったです。山登りは消防学校の同期に誘われて行ってみたんですけどこれもまた面白かったですね。

大田: 学生時代にやっていた部活やスポーツはありますか？

横山: 小学生の頃はミニバス、中学生の頃はテニス、高校生の頃はバレー部に所属していました。大学の時もバレー部に入っていました。2年生の時にコロナ全盛期でして、全部中止になってしまいました、、、。

大田: それは残念でしたね、、、最後の質問になります、将来どのような消防吏員になりたいですか？

横山: 救助隊と救急救命士の二刀流を目指しています。救助隊として迅速、安全、丁寧に傷病者を救助、かつ救急救命士としても傷病者に寄り添い、頼られる救急救命士になりたいです。

2年目 中村伊吹消防士

大田: よろしくお願ひします。

中村: よろしくお願ひします。

大田: まず始めに、消防を志した理由を教えてください。

中村: 中学生の頃からかっこいいなという憧れはありました。その当時、牧の原消防署に職業体験で行ったことがありまして、その時に本格的に目指してみよう! と思い。志しました。高校を卒業した後に3年制の専門学校に入り、救急救命士の資格を取りました。

大田: 趣味や好きなことはありますか？

中村: 映画を観ることです。最近の映画でおススメは「六人の嘘つきな大学生」、ミステリー、サスペンス系で面白かったです。原作の小説から読んでいました。後は、休日にたまにランニングして気分転換しています。

大田: 学生時代にやっていた部活やスポーツはありますか？

中村: 小学生の頃は野球クラブ、中学生の頃は器械体操部、高校生の頃はレスリング部に所属していました。

大田: 色々やられていますね。ちなみに特にキツかった練習とか覚えていますか？

中村: レスリング部の時に5分間フルに取り組みを行う練習がありました、レスリングは基本1セット3分なんですけど、それを5分間行うという、、、しかも相手は1分ごとに変わるので、常に相手はフレッシュ、自分はクタクタといった感じで、少しでも気を抜くとケガにもつながってしまいますし、キツかったですね。

大田: さて、最後の質問になります、将来どのような消防吏員になりたいですか？

中村: 私は救急隊として活躍していけたらと思います。多くの市民の方々に寄り添い、頼りにされる救急救命士になれるよう頑張ります。

令和6年度防火ポスターコンクール 「最優秀作品」決定！

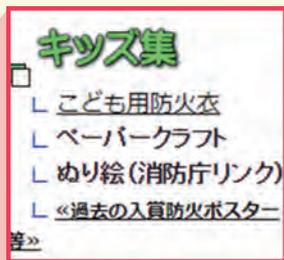
たくさんのご応募ありがとうございました。

防火ポスターコンクールは、子供たちの防火意識の育成と火災予防について深く理解してもらうため、秋の火災予防運動に合わせて、管内の小中学校から防火ポスターを募集させていただきました。その結果、『489作品』の応募がありました。審査会は印西地区消防組合消防本部で行われ、その審査の結果、29作品が入選作品として選ばれました。最優秀賞に選ばれた作品は、火災予防広報の一環として、当組合作成の防火ポスター及びポケットティッシュとして活用させていただきます。

なお、防火ポスター入選作品は、当消防組合のホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

【印西地区消防組合ホームページ】

<http://fire-inzaichiku.eco.coocan.jp/>



印西地区消防組合
公式ホームページ
QRコード

防火ポスターコンクールの
審査結果についてはこちらをクリック！
過去の結果も閲覧できます。



最優秀防火ポスター

最優秀賞

(印西地区消防組合管理者賞)

印西市立小倉台小学校6年

すずきのあ
鈴木乃愛さん

お問合せ

消防本部予防課 指導調査係

☎ 0476-46-9971

令和6年度救助隊員選抜考査実施について

6月21日(金) 牧の原消防署で令和6年度救助隊員選抜考査が実施され、計7名の若手消防職員が我こそはと名乗りを上げました。2年に一度行われるこの救助隊員選抜考査ですが、救助隊員になるためには避けては通れない狭き門となっています。地域住民の安全を確保するための消防救助活動に必要不可欠である、体力、技術及び精神面の厳しい審査が行われました。その後、3名の隊員が新たな救助隊員として任命され日々精進しています。

